

整理番号
241

事務事業評価表
令和6年度実施事業

部長	課長	課長補佐	係長	担当者

事業名	未普及地区飲料水確保支援事業				担当課	上下水道課
業務名	-				担当係	業務経理係
基本目標	5	便利で快適に暮らせるまち			計画期間	令和6年度 ~ 令和8年度
施策項目	5	上・下水道			事業区分	補助
主な取組	2	水道未普及地区への対応			-	-
予算科目	会計	款	項	目	大事業	
	1	4	1	9	上水道費	

目的と方針【PLAN】
安全・安心な水の安定供給に向け、水道施設の整備等を計画的に進めるとともに、河川の水質保全と快適な生活環境づくりに向け、生活排水処理施設の適正管理及び普及促進を図ります。

事業概要【PLAN】
水道未普及地区において、飲料水確保のため井戸の新設や修繕に対する経費を補助します。

対象【PLAN】	水道未普及市民（世帯）	意図【PLAN】	飲料水が安定的に確保されることにより、安心して日常生活が送れること
-----------------	-------------	-----------------	-----------------------------------

意図の実現のために必要なこと【PLAN】
井戸掘削等工事に要する経費を補助する

事業費【D0】		年度	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
		単位	(実績)	(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)
財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0		
	都道府県支出金	千円	0	0	0	0		
	地方債	千円	0	0	0	0		
	その他	千円	0	0	0	0		
	一般財源	千円	3,000	4,800	5,664	5,000		
	事業費合計	千円	3,000	4,800	5,664	5,000		

(1) 伊達市第3次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】

指標名	単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
申請件数	件	実績値が目標値以上となること	目標値	6	7	8	9	10
			実績値	8	8			
			達成率	100.0%	100.0%			

(2) チェック項目による評価【CHECK】

	評価視点	評価の結果
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民ニーズについてどうか 社会的需要についてどうか 事務事業の優先度については高いものであるか 	補助制度活用により、水道未普及区域での飲料水確保が進んでいる。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか 市民満足度についてはどうか 社会貢献度についてはどうか 	濁水等により井戸補助の相談件数及び補助件数が増加している。結果として未普及地域での飲料水確保が進んでいる。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 費用を抑える工夫は行ったか 時間を削減する工夫は行ったか 当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか 	申請書等の確認が主な業務であるため費用や時間を削減する工夫は行っていない。

(3) 今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】

今後の方向性	拡充	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など	水道未普及地域の飲料水確保は不可欠であり本事業は必要である。需要が増えているため今後申請を希望する世帯が増加すると予想される。
--------	----	-------------------------	---

整理番号
242

事務事業評価表
令和6年度実施事業

部長	課長	課長補佐	係長	担当者

事業名	生活用水供給（宅配）事業				担当課	上下水道課
業務名	-				担当係	企画経営係
基本目標	5	便利で快適に暮らせるまち			計画期間	令和6年度～令和8年度
施策項目	5	上・下水道			事業区分	一部委託
主な取組	2	水道未普及地区への対応			-	-
予算科目	会計	款	項	目	大事業	
	1	4	1	9	上水道費	

目的と方針【PLAN】
安全・安心な水の安定供給に向け、水道施設の整備等を計画的に進めるとともに、河川の水質保全と快適な生活環境づくりに向け、生活排水処理施設の適正管理及び普及促進を図ります。

事業概要【PLAN】
水道未普及地区において、生活用水確保のため生活用水の宅配を行います。

対象【PLAN】 自家水（井戸水等）の濁水・濁水により生活用水が十分に確保できない水道整備区域外及び計画区域内未整備区域における市民
意図【PLAN】 生活用水不足の解消

意図の実現のために必要なこと【PLAN】 生活環境が改善され、安心して快適に生活することができる。
水道管の敷設に代わる水の供給手段として安価で安定的に水を届けることができる。
給水車により生活用水（飲用不可）を宅配する。

事業費【D0】		年度	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
		単位	(実績)	(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)
財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0		
	都道府県支出金	千円	0	0	0	0		
	地方債	千円	0	0	0	0		
	その他	千円	412	912	960	1,008		
	一般財源	千円	4,593	7,614	8,934	8,514		
	事業費合計	千円	5,005	8,526	9,894	9,522		

(1) 伊達市第3次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】

指標名	単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
利用回数	回	実績値が目標値以上となること	目標値	640	645	650	655	660
			実績値	1,274	1,443			
			達成率	100.0%	100.0%			

(2) チェック項目による評価【CHECK】

	評価視点	評価の結果
必要性	・市民ニーズについてどうか ・社会的需要についてどうか ・事務事業の優先度については高いものであるか	給水区域外の市民の給水方法は限られていることから使用ニーズが高く、また生活に必要な生活用水の宅配となることから優先度は高い。
有効性	・施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか ・市民満足度についてはどうか ・社会貢献度についてはどうか	生活に必要な生活用水の補給であることから市民満足度・社会貢献度は高いと考えている。
効率性	・費用を抑える工夫は行ったか ・時間を削減する工夫は行ったか ・当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか	年々利用者が増加しており、費用増加になる恐れがあったが、令和5年度に行った運営方法の見直しや日程調整により休日・時間外業務時間の削減に伴う人件費の減を行うことが出来た。

(3) 今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】

今後の方向性	維持	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など	水道未普及地域の飲料水確保は不可欠であり本事業は必要である。需要が増えているため今後宅配を希望する世帯が増加すると予想される。
--------	----	-------------------------	---

整理番号
246

事務事業評価表
令和6年度実施事業

部長	課長	課長補佐	係長	担当者

事業名	浄化槽設置支援事業				担当課	上下水道課
業務名	-				担当係	企画経営係
基本目標	5	便利で快適に暮らせるまち			計画期間	令和6年度 ~ 令和8年度
施策項目	5	上・下水道			事業区分	補助
主な取組	4	合併処理浄化槽の普及促進			-	-
予算科目	会計	款	項	目	大事業	
	1	4	1	4	浄化槽支援事業	

目的と方針【PLAN】
安全・安心な水の安定供給に向け、水道施設の整備等を計画的に進めるとともに、河川の水質保全と快適な生活環境づくりに向け、生活排水処理施設の適正管理及び普及促進を図ります。

事業概要【PLAN】
合併処理浄化槽を設置する者に対し、補助金を交付し支援を行います。

対象【PLAN】	市民（合併浄化槽に転換又は新しく設置する市民）	意図【PLAN】	生活排水の汚水が衛生的に処理され、きれいな水質に再生される。
-----------------	-------------------------	-----------------	--------------------------------

意図の実現のために必要なこと【PLAN】
市民への生活排水の処理等に関する広報活動及び合併浄化槽補助金の交付を行うことにより合併浄化槽普及率を向上させる。

事業費【D0】		年度	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
		単位	(実績)	(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)
財源内訳	国庫支出金	千円	6,457	8,204	7,580	7,459		
	都道府県支出金	千円	2,693	4,899	5,048	5,618		
	地方債	千円	0	0	0	0		
	その他	千円	0	0	0	0		
	一般財源	千円	11,264	12,035	16,701	10,666		
	事業費合計	千円	20,414	25,138	29,329	23,743		

(1) 伊達市第3次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】

指標名	単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
合併処理浄化槽補助設置基数(累計)	件	実績値が目標値以上となること	目標値	3,555	3,668	3,781	3,894	4,007
			実績値	3,480	3,547			
			達成率	97.9%	96.7%			

(2) チェック項目による評価【CHECK】

	評価視点	評価の結果
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民ニーズについてどうか 社会的需要についてどうか 事務事業の優先度については高いものであるか 	市民への生活排水の処理等に関する広報活動及び合併浄化槽補助金の交付を行うことにより合併浄化槽普及率を向上させる。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか 市民満足度についてはどうか 社会貢献度についてはどうか 	市内には、未だに単独浄化槽を使用している人が多いので、合併浄化槽への転換の推進を図る必要がある。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 費用を抑える工夫は行ったか 時間を削減する工夫は行ったか 当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか 	申請書等の確認が主な業務であるため費用や時間を削減する工夫は行っていない。

(3) 今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】

今後の方向性	維持	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など	宅内配管費用補助制度について、見込みよりも補助利用基数が多く、市民ニーズに合っていると見える。引き続き広報活動を行い、制度の周知を図る。
--------	----	-------------------------	--